



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月14日

上場会社名 株式会社スーパーバリュー 上場取引所 東
コード番号 3094 URL <https://www.supervalue.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 内田 貴之
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 中谷 圭一 TEL 048-778-3222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	15,385	△15.3	54	—	64	—	41	—
2025年2月期第1四半期	18,164	6.3	△281	—	△258	—	△296	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	3.31	3.24
2025年2月期第1四半期	△23.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期第1四半期	18,828	1,659	8.8	130.29
2025年2月期	15,343	1,617	10.5	126.99

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 1,651百万円 2025年2月期 1,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—				
2026年2月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

3. 2026年2月期の業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,197	△8.5	444	—	487	—	310	—	24.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	12,673,750株	2025年2月期	12,673,750株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	783株	2025年2月期	783株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	12,672,967株	2025年2月期1Q	12,672,968株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間（2025年3月1日から2025年5月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く、設備投資は緩やかに回復し、内需の柱である個人消費も緩やかなペースで回復の動きが見られましたが、中東情勢やウクライナ情勢の緊迫化等による原材料・エネルギー価格の高止まりや為替変動による影響に加え、米国の関税政策に伴う世界経済動向の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の持ち直しの動きが見られ、訪日外国人によるインバウンド需要も堅調に推移いたしました。しかしながら、他業種も含めた価格競争に加え、商品メーカー等の相次ぐ値上げや品不足等による販売価格への転嫁等に伴い、実質賃金はマイナス傾向にあり、消費者の低価格・節約志向の高まり等から、業績に与える影響は不透明な状況となっており、これまで以上に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社では「より良い商品をより安く」をモットーに、販売価格にメリハリをつけ、集客及び売上高の回復に取り組んでまいりました。また、2025年4月14日付で公表いたしました「2025年2月期 決算短信」（以下、「前期決算短信」という。）に記載したとおり、親会社である株式会社O I Cグループ（以下、「親会社」という。）の子会社で食品スーパーマーケットの運営等を行う株式会社ロピア（以下、「ロピア」という。）とのシナジー効果の早期発揮や利益改善に向けて各種施策を引き続き進めてまいりました。

売上高については、食品スーパー（以下、「SM」という。）では、グロッサリを中心にEDLP（エブリデー・ロー・プライス）を展開しつつ、生鮮については、鮮度・品質の向上を中心により良い商品をより安く提供することで、集客及び売上高の回復に努めてまいりました。このような中、前事業年度までにロピアとの共同開発によりSM改装モデル店へ改装した店舗の売上高は伸長いたしましたが、前事業年度において不採算店舗対策として閉店したSM店舗5店舗及び、不採算店舗内売場対策として閉所したホームセンター（以下、「HC」という。）売場10箇所の売上高が減少したことにより、売上高は前年同期比84.7%となりました。

利益面では、円安等による原材料価格及び仕入原価の上昇等もある中、SM販売商品の生鮮の精肉・鮮魚においては、ロピアの加工センターからの供給の拡大を促進し、青果においては、ロピアと共同で親会社の子会社（以下、「グループ子会社」という。）からの供給を拡大し、安定供給及び原価低減を進めてまいりました。また、グロッサリにおいては、グループ子会社からのロピアのプライベート商品の直接仕入の拡大を促進し、ロピアとの商品仕入先の共有等による商品仕入先等の見直しを継続して進め、利益改善等に引き続き取り組んだことにより、売上総利益率は前年同期比で0.1ポイント上回る20.4%となりました。

経費面では、SM店舗の閉店やHC売場の閉所等による経費の減少もあり、販売費及び一般管理費の前年同期比は売上高の前年同期比84.7%を1.0ポイント下回る83.7%となりました。

なお、店舗展開においては、新規出店はありますが、不採算店舗内売場対策として、継承先と協議を進めておりました草加店のHC売場について、2025年3月7日付で賃貸テナント契約が決定し閉所いたしました。

以上の結果、売上高は153億85百万円（前年同期比15.3%減）、営業利益は54百万円（前年同期は営業損失2億81百万円）、経常利益は64百万円（前年同期は経常損失2億58百万円）、四半期純利益は41百万円（前年同期は四半期純損失2億96百万円）となりました。

当社の事業セグメントは、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであります。販売商品別の売上高は、SM販売商品は151億14百万円（前年同期比98.4%）、HC販売商品は2億71百万円（前年同期比9.6%）であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ34億85百万円増加（22.7%）し、188億28百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ34億43百万円増加（25.1%）し、171億69百万円となりました。この主な要因は、買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ41百万円増加（2.6%）し、16億59百万円となりました。この要因は、四半期純利益の計上額41百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、ロピアとのシナジー効果の早期発揮や利益改善に向けて各種施策を引き続き進めてまいります。このような中、2026年2月期の業績予想は前期決算短信に記載したとおり、未定としておりましたが、本日（2025年7月14日）公表いたしました「中期経営計画の見直し及び業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」（以下、「当中期経営計画の見直し」という。）に記載したとおり、2026年2月期及び翌事業年度の経営計画の見直しと、新たにその後の2期の経営計画の策定をいたしましたので、2026年2月期の経営計画を2026年2月期の業績予想といたしました。

2026年2月期の業績予想は、売上高601億97百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益4億44百万円（前期同期は営業損失27億56百万円）、経常利益4億87百万円（前期同期は経常損失26億87百万円）、当期純利益3億10百万円（前期同期は当期純損失27億90百万円）を見込んでおります。

なお、米国の関税政策等の動向が不透明なことから、第2四半期（累計）の業績予想は公表を差し控え、通期の業績予想のみ公表いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました当中期経営計画の見直しをご覧ください。

また、今後の経営環境の変化等により、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,422,975	5,016,544
売掛金	596,383	854,186
商品	1,492,372	1,649,534
貯蔵品	21,312	21,312
その他	724,491	401,073
流動資産合計	4,257,534	7,942,651
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,732,997	4,653,881
土地	1,720,293	1,720,293
その他（純額）	1,378,914	1,283,767
有形固定資産合計	7,832,204	7,657,941
無形固定資産	151,579	144,599
投資その他の資産		
差入保証金	2,645,255	2,630,436
前払年金費用	333,153	333,206
その他	130,001	125,906
貸倒引当金	△5,877	△5,877
投資その他の資産合計	3,102,533	3,083,671
固定資産合計	11,086,317	10,886,213
資産合計	15,343,851	18,828,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,212,256	7,831,617
短期借入金	4,190,756	4,292,983
未払法人税等	114,389	46,940
契約負債	22,732	23,046
賞与引当金	112,000	162,500
資産除去債務	108,852	109,542
その他	1,677,657	1,516,083
流動負債合計	10,438,644	13,982,713
固定負債		
長期借入金	1,009,548	907,321
退職給付引当金	168,600	165,128
資産除去債務	1,076,445	1,079,971
その他	1,033,128	1,034,354
固定負債合計	3,287,723	3,186,775
負債合計	13,726,367	17,169,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513,649	3,513,649
資本剰余金	3,422,169	3,422,169
利益剰余金	△5,326,166	△5,284,274
自己株式	△356	△356
株主資本合計	1,609,297	1,651,189
新株予約権	8,186	8,186
純資産合計	1,617,483	1,659,375
負債純資産合計	15,343,851	18,828,864

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	18,164,359	15,385,211
売上原価	14,470,891	12,247,966
売上総利益	3,693,468	3,137,245
営業収入	121,174	343,755
営業総利益	3,814,642	3,481,000
販売費及び一般管理費	4,096,403	3,426,792
営業利益又は営業損失(△)	△281,760	54,208
営業外収益		
受取利息	3,459	1,821
受取手数料	22,485	15,350
その他	10,238	8,255
営業外収益合計	36,182	25,427
営業外費用		
支払利息	12,176	15,239
その他	733	81
営業外費用合計	12,909	15,321
経常利益又は経常損失(△)	△258,487	64,314
特別利益		
固定資産売却益	—	49,055
特別利益合計	—	49,055
特別損失		
固定資産除却損	723	1,682
店舗閉鎖損失	17,931	21,469
解約違約金	—	29,584
特別損失合計	18,654	52,736
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△277,142	60,633
法人税、住民税及び事業税	19,361	18,725
法人税等調整額	△6	16
法人税等合計	19,354	18,741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296,497	41,891

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	179,796千円	182,225千円